

平成30年度指定管理者業務モニタリング評価表

施設名	民俗資料収蔵室
所在地	豊橋市多米町字滝ノ谷34番地1の1
指定管理者	多米校区文化協会
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
担当課	教育部美術博物館(0532-51-2882)
平成29年度指定管理料(決算)	954千円
平成30年度指定管理料(決算見込)	975千円

項目		基準	評価					
管理業務の実施状況に関する項目	維持管理業務の実施状況	仕様書等に基づき施設の適切な維持管理業務が行われているか。	仕様書に基づき適正に行われている。					
	自主事業等の実施状況	事業計画書等に基づいた施設の設置目的に沿った事業が実施されているか。	自主事業は実施していない。					
	人員配置等の業務体制	仕様書等で定めた人員配置がなされているか。また、労働環境が関係法令等を遵守した適正なものとなっているか。	仕様書に基づき人員配置がなされている。労働環境は、関連法令等が遵守され適正なものとなっている。					
	職員研修の実施状況	事業計画書等に依り職員研修が実施されているか。	業務従事者に管理運営の適切な実施について指導を行っている。					
	個人情報保護の措置状況	協定書の個人情報保護規定に基づき、個人情報が適正に管理されているか。	適正に管理されている。					
	緊急時対応への取組状況	緊急時の連絡体制があり、かつ訓練等が実施されているか。	緊急時には美術博物館への連絡を行うことになっている。危機管理マニュアル等の整備等もしており、危機管理に対する取り組みがなされている。					
施設利用状況に関する事項	施設利用の許可状況	利用者の公平な選考を確保しているか。	確保されている。					
	施設利用状況	前年度と比較した利用者数や施設稼働率についてはどうなっているか。(利用状況を数値化して平成29・30年度を比較)		平成28年度	平成29年度	平成30年度	比較(H30-H29)	
			開館日数	116日	115日	115日	0日	
			利用者数					
			a. 個人	1,135人	939人	1,010人	71人	
	b. 団体	2,317人	2,756人	4,792人	2,036人			
【要因分析】 イベント開催増による来館者増 (JRさわやかウォーキング +1,600名、あそびの学校 +200名 お面づくり体験 +80名 など)								
サービス向上等への取組状況	施設PRやサービス向上の取組みは実施されているか。	・正月のくど・うす体験においては、校区市民館や自治会、地元の老人クラブとともに運営に参加し、参加者を広く呼び込むことにより、例年30名程度の参加者が70名を超えるほどの大きなイベントとなった。 ・季節に合わせ、地元の方に寄附いただいた雛人形などの展示を行い、来館者の満足度向上に努めた。						
利用者満足度調査結果	利用者への満足度調査(アンケート)等を実施し、業務改善を実施しているか。(指定管理者が自ら行ったアンケート結果に基づく)	平成30年4月～平成31年3月に独自の利用者アンケートを実施  運営全般に関して とても満足 72% 満足 28% ふつう 0% やや不満 0% 大変不満 0%  この結果を踏まえると、利用者の満足度は高いものと考えられる。						

		内容	対応			
意見箱等	意見箱等に寄せられた具体的な意見	閉館日・開館時間が分からない	門扉の案内版がはがれていたので、新しいものを取り付けた。			
		高齢者でも見学しやすいほうがいい	玄関のスロープを改良し、車椅子の方にも見学いただけるようにした。			
苦情・トラブルへの対応	利用者の苦情等への対応は適切であったか。	利用者からの要望がある場合には適切に対応している。				
管理経費等の収支状況等	経費等の執行管理状況	資金の適正な管理と経理内容の明確化が実施されているか。	資金管理は確実に実行されている。また、指定管理業務とその他の業務を区分し適正に経理されている。			
	経費等の収支状況	収支状況が収支計画書と乖離していなかったか。	乖離していない。			
		収支計算書	収入の部		支出の部	
			指定管理料	975千円	指定管理事業費	975千円
			利用料金収入			
			自主事業収入			
その他収入						
収支差額			0千円			
指定管理者の自己評価	<p>仕様書に基づき適切に業務を行った。こまめに点検をし、破損や不良部分を遅滞なく美術博物館に報告した。</p> <p>落ち葉や危険な枝を、自治会のボランティアとともに作業員やチェーンソーを使い伐採・処分した。季節ごとに花木の植え替えを行うなど景観の美化に努めた。その結果、写真や写生クラブの定期的な来訪や、塾のCM撮影のロケ地として採用されるなど、新たな施設利用があった。</p>					
総合評価	<p>事業計画書、協定書、仕様書等に基づき適正に管理されている。収蔵室内外の清掃や修繕を適切に行っている。修理が必要な箇所の応急処置や、美術博物館へ迅速な確認報告を行うなど、施設運営が安全かつ良好に行われている。花壇の整備や花木の植え替えを積極的に行い、来館者の増加・満足度の向上に貢献した。</p>					